

神山地区防災計画

令和7年3月 作成

目次

1	基本的な考え方	・・・ 2
2	計画の対象となる地区	・・・ 3
3	神山地区の特性	・・・ 4
4	神山地区の予想される災害	・・・ 6
	・ 南海トラフ巨大地震ハザードマップ	
	・ 液状化危険度予測図	
	・ 洪水ハザードマップ	
	・ 土砂災害ハザードマップ	
	・ 主なため池ハザードマップ	
4	活動方針	
	（1）平常時の対応	・・・ 13
	（2）災害時の対応	・・・ 14
5	防災体制	
	（1）白山小学校区内自主防災組織一覧	・・・ 15
	（2）組織体制	・・・ 16
	（3）避難場所等	・・・ 17
	（4）備蓄物資及び資機材	・・・ 18～23
6	その他	
	（1）防災情報の入手について	・・・ 24
	（2）最低限必要な備蓄物資の量	・・・ 25
	（3）家具類転倒防止対策	・・・ 26
	（4）家屋の耐震化について	・・・ 26
	（5）避難者カード	・・・ 27
7	資料	
	（1）まち歩き防災マップ	・・・ 28
	（2）まち歩き写真資料	・・・ 29
	（3）避難所運営マニュアル	

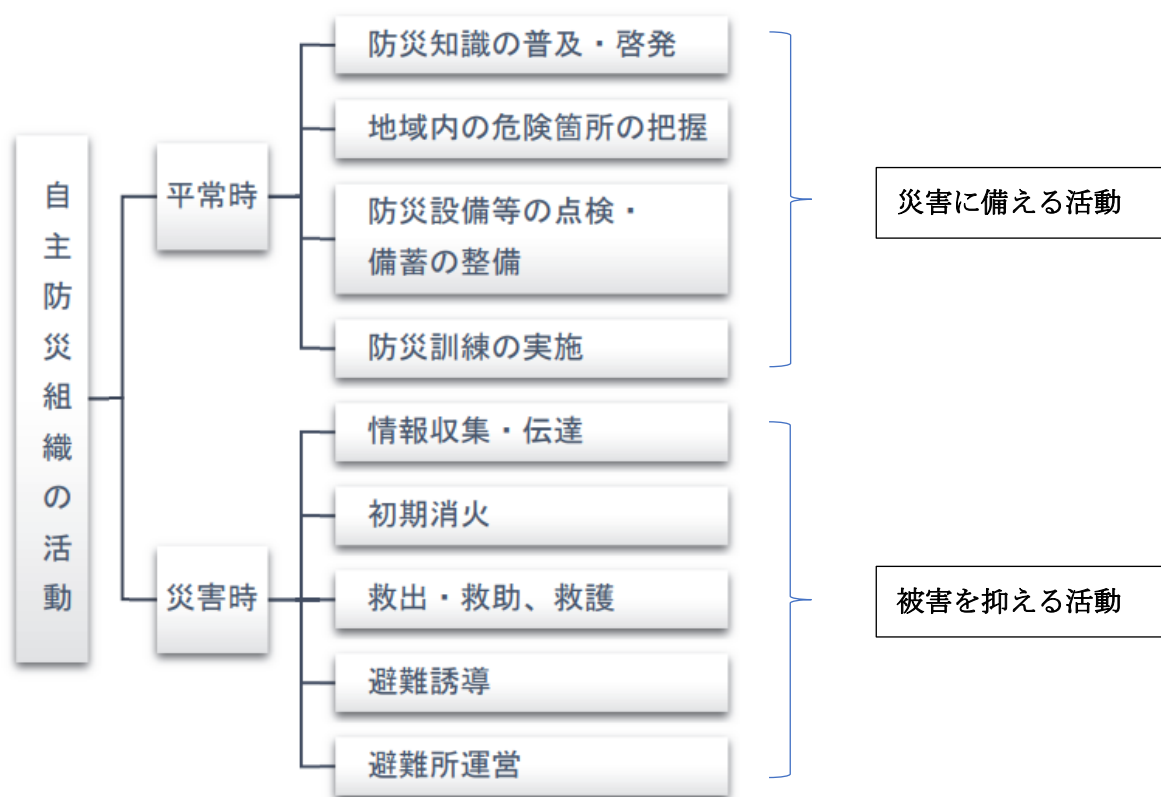
1 基本的な考え方

南海トラフ地震など大規模災害発生時には、県内の広い地域で大きな被害が予想されていますが、被害を最小限に抑えるためには、行政・警察・消防の力（いわゆる「公助」）に加え、自らの身は自ら守る「自助」、地区の安全を地区住民が助け合って守る「共助」の全てが連携・協働することが大変重要です。

阪神・淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された全体の約8割の方は、近隣の方々により救出されており、また、約7割弱が家族を含む「自助」、約3割が隣人等の「共助」により救出されています。

そのためには、平時から、各自・各家庭で食料・飲料水等の備蓄、家具の固定、耐震化等を進めていくとともに、地域で起こりそうな災害や避難経路を把握し、地域に住む方々と知り合い、何かあったら協力できる関係を築いておくことが必要です。

私たちの地域では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地域住民と協力して、「災害に強いまちづくり」を進めていきます。



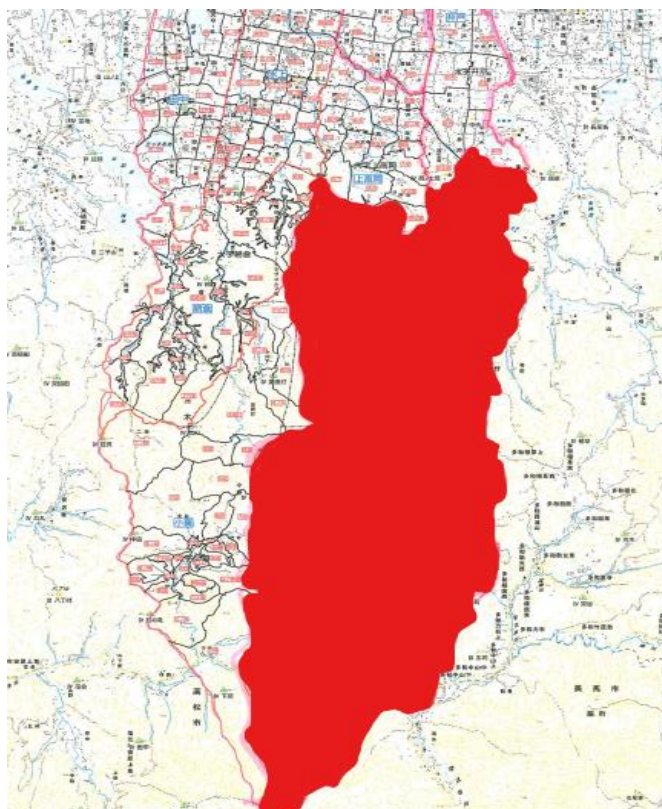
2 計画の対象となる地区

本計画の対象となる地区は三木町神山地区です。

神山地区は下記の小字で構成されています。

神山地区小字・・・別所、下所、出作、上所、左直、出水、氷上所、百田、氷下所、高松谷、持別当、奈良谷、上連、上連東、竹尾、打木、三区、花折、小峠、津柳上、通谷、井戸、広野、津柳中、津柳下、奈良、戸川、中山、堂ヶ平

神山地区位置図



3 神山地区の特性

■地形

三木町の南東部に位置している地域であり山が多い地域である。
また、浸食地形であり、谷が多い。

■河川

新川の上流がある。
葛ノ尾川、氏の宮川があり、葛ノ尾川は平成 16 年の台風 23 号の際に浸水したことがある。

■ため池

北部に奈良谷池がある。

■その他

南海トラフを震源とする数千年に 1 度程度発生すると想定される地震による津波は到達しない。

■震度分布図での危険箇所（南海トラフの最大クラス地震）

ほとんどの地域で震度6弱の地震が起これと予想される。
奈良谷池の堤防決壊による浸水、葛ノ尾川による土砂災害が予想される。
電柱や、ブロック塀、昭和46年以前の住宅は点検が必要である。
鹿庭コミュニティセンターががけ崩れによって避難できない場合が考えられる。

■液状化危険度予測図での危険箇所（南海トラフ最大クラス地震）

ほとんどの地域で液状化の危険性がないと考えられる。

■洪水浸水想定区域での危険箇所

ほとんどの地域で洪水浸水想定区域はないが、葛ノ尾川の浸水が考えられる。
葛ノ尾川では、平成16年の台風23号での浸水実績がある。

■土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域での危険箇所

本地域では、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が点在している。
新川沿いでは17か所、氏の宮川周辺では13か所、葛ノ尾川周辺では3か所、
奈良谷川周辺では3か所危険箇所がある。

4 神山地区の予想される災害

■大規模地震

本地域のほとんどで震度6弱の地震の発生が予想される。

昭和56年以前の旧家屋が多いため、家屋の倒壊や、石垣、ブロック塀の倒壊が予想される。

土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域では、がけ崩れや土石流、地滑りが発生し、人命への著しい被害が予想される。

その他、ため池決壊による池津波の発生も予想される。

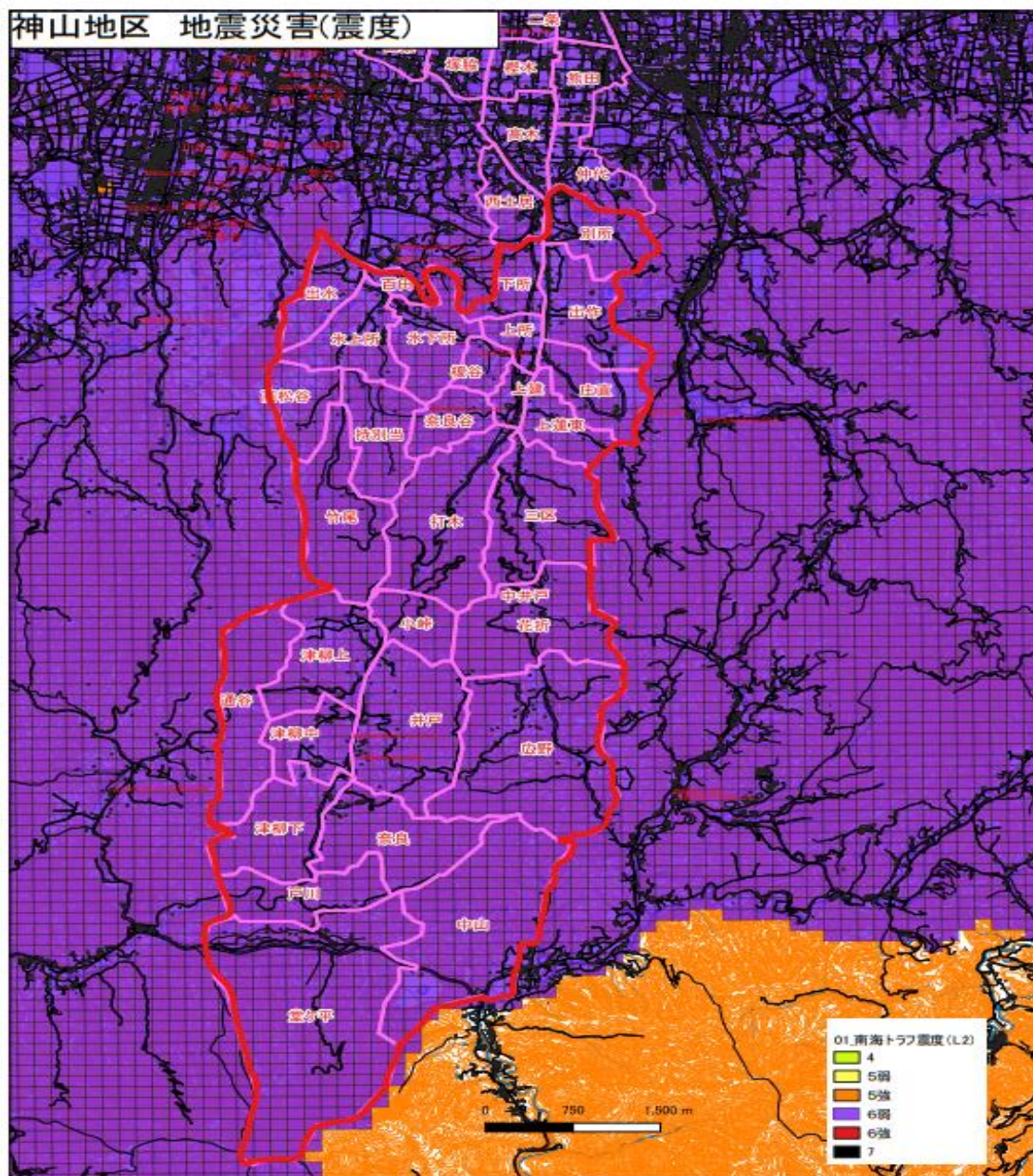
■風水害

集中豪雨や台風等の短時間の大量の降雨により、河川の氾濫などの土砂災害の発生が予想される。

また、大量の降雨により、急傾斜地崩壊などにより土砂崩れ土石流等の土砂災害による、大規模な被害が予想される。

これらの災害について留意すべき地区については次ページ以降にハザードマップ等を抽出して表示します。

(1) 南海トラフ巨大地震ハザードマップ



平成26年度 香川県地震・津波被害想定（第一次公表）をもとに作成

本地域のほとんどで、最大震度6弱が想定されている。
このことから家屋の倒壊も起きると予想される。

(2) 液状化危険度予測図（南海トラフ最大クラス地震）

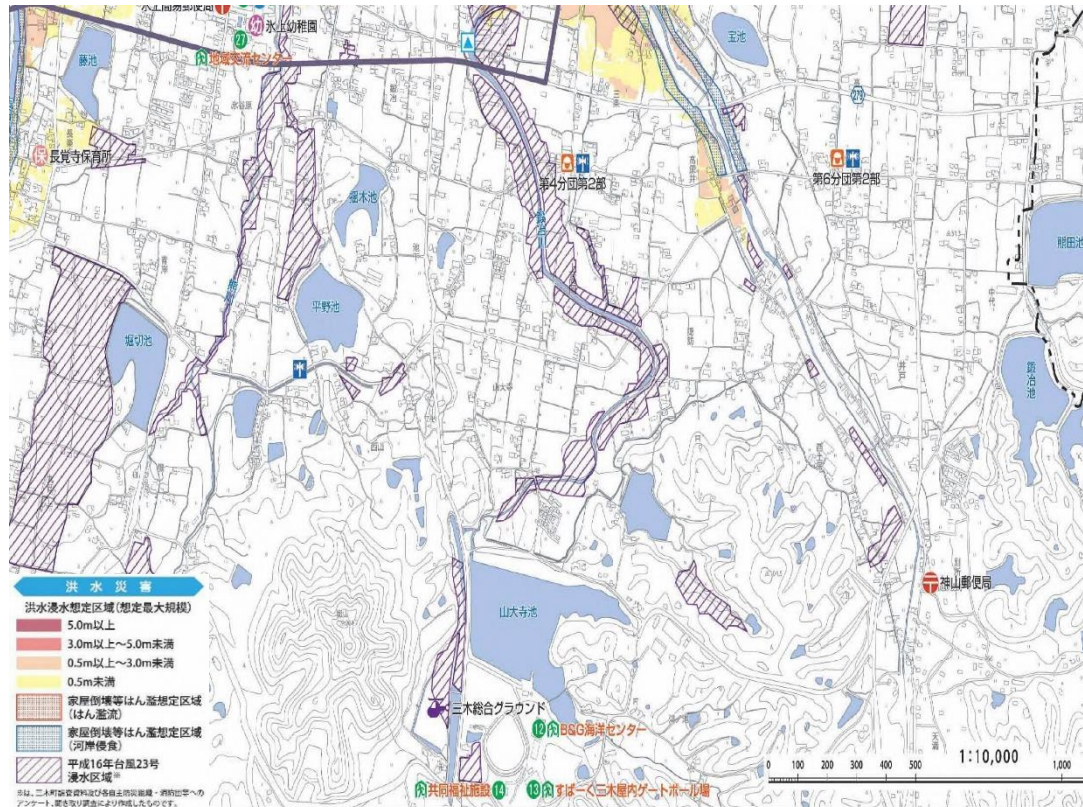


平成26年度 香川県地震・津波被害想定（第一次公表）をもとに作成

本地域のほとんどは液状化の危険度が低い地域であるが、一部液状化の危険度が高い地域がある。

危険度の高いエリアでは、液状化の影響により道路に段差が生じたり、砂や土砂の噴出、建物や橋梁の沈下、地下埋設管やマンホールの浮き上がりが発生する可能性がある。また、建物の耐震性が高くても変形する可能性がある。

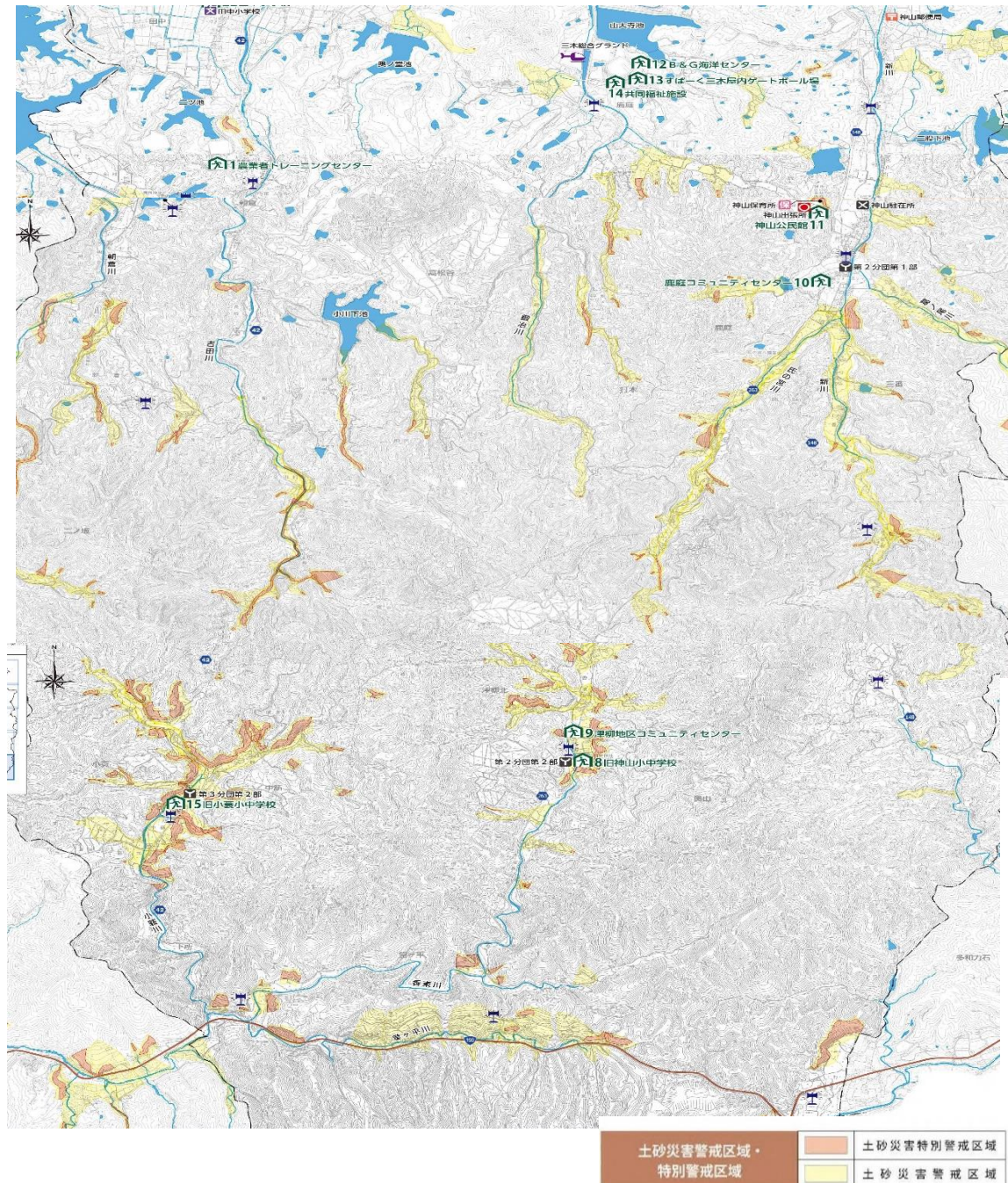
(3) 洪水ハザードマップ



出典：三木町洪水ハザードマップ（令和4年2月発行）

本地域では、ほとんどのエリアで洪水の危険性がない。
ただし、一部のエリアで、平成16年台風23号の浸水履歴がある。

(4) 土砂災害ハザードマップ



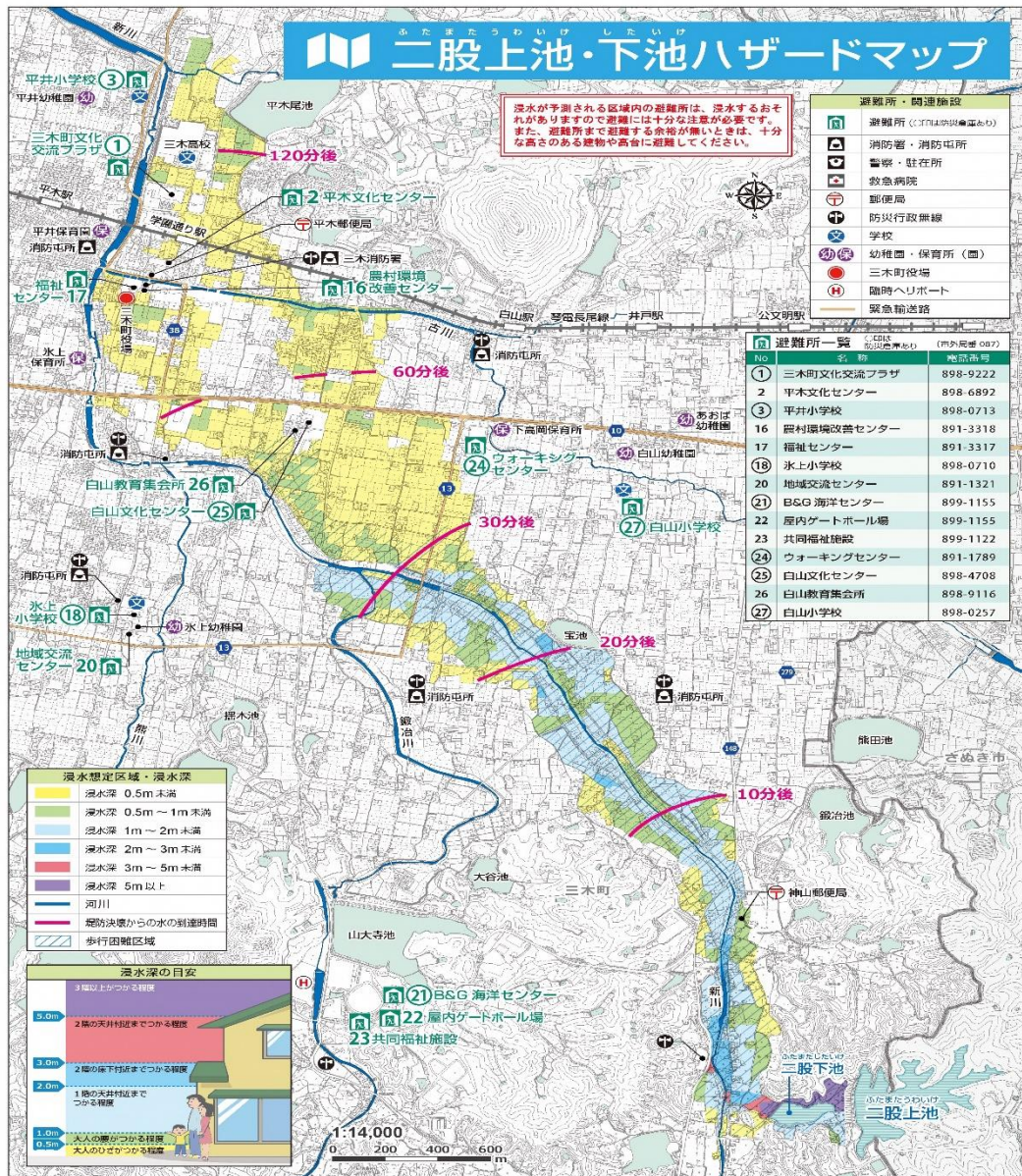
出典：三木町ハザードマップ（平成28年3月発行）

本地域では、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が複数箇所存在している。特に山間部に多い傾向があり、この地域ではがけ崩れ、土石流、地滑り等が起こる可能性がある。

近くに住宅がある箇所もあるため、居住者は避難指示等が発令された場合速やかに避難する必要がある。

(5) 土砂災害ハザードマップ

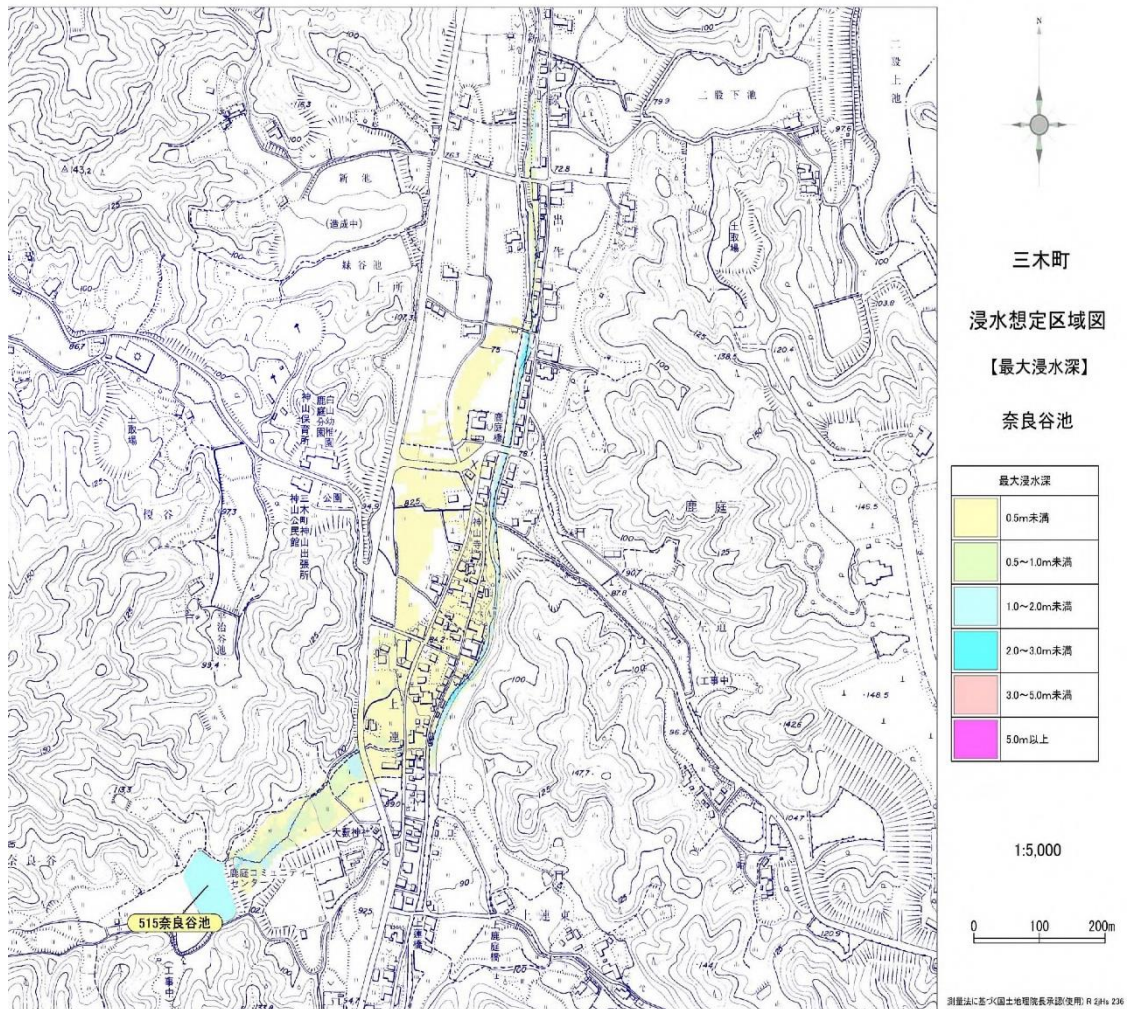
■二股上池



出典：三木町ハザードマップ（平成28年3月発行）

二股上池・二股下池の西側のエリアでは、想定浸水深が0.5m未満、0.5～1m未満、1～2m未満、2～3m未満、3～5m未満、5m以上のエリアがある。特に二股下池の真北の出作では、想定浸水深が5m以上となるエリアがあるため注意が必要である。

■奈良谷池



出典：三木町ホームページ「三木町ため池ハザードマップ・浸水想定区域図」

奈良谷池の東側から北東側にかけて想定浸水深 0.5 未満、0.5～1m 未満のエリアがある。

浸水深 0.5～3m 未満は浸水しない場所や、自宅の 2 階等へ避難する必要がある。

4 活動方針

(1) 平常時の対応

いざという時に地区の力が発揮できるよう、目標を設定し、地域の住民が協力して継続的に防災活動を行います。

ア 防災知識の普及・啓発

防災対策では、地区住民一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

イ 地域の危険個所の把握

地区での防災対策を行うには、その地区を知ることが必要不可欠です。地区で協力して、災害図上訓練や防災まち歩きなどを通して、地区内の危険箇所や防災上問題のある場所などを確認し、改善するための働きかけなどを行います。また、必要に応じて、防災マップの検証・見直しを行います。

ウ 指定避難所・指定緊急避難所・避難経路の確認

災害時には素早く、安全に避難することが必要です。地区住民一人ひとりが、自分が避難する指定避難所・指定緊急避難場所を確認するとともに、そこへの避難経路も確認しておきます。

エ 防災資機材の点検、食料等の備蓄

防災資機材や備蓄物資は、災害時の対応やその後の生活に役立ちます。地区で防災資機材や備蓄物資を整備し、日頃の点検・整理や使い方の確認を行います。また、防災資機材や備蓄物資の保管場所については、災害時に使用できるか確認して選定します。

オ 防災訓練の実施

防災訓練は、災害時に、素早く、的確に対応するために欠かせない活動です。地区住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行い、災害時の動きを確認します。また、防災訓練後には、訓練の振り返り等を行い、改善していきます。

(2) 災害時の対応

まずは、自分の命を守りましょう。災害時には、負傷者が出たり、家屋の倒壊、火災など様々な事態が発生する可能性があります。情報収集や救出・救護など、地区でどんなことができるか事前に想定し、公共機関とも連携しながら、協力して災害に立ち向かいます。

ア 情報収集・伝達

防災行政無線・戸別受信機・テレビ・ラジオ・防災アプリ「香川県防災ナビ」などから情報を収集し、地域住民に伝達します。また、地域の被災状況などを取りまとめ、町の災害対策本部などの防災関係機関へ報告します。

イ 初期消火

消防団員や消防署員が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。無理はせず、消防団員や消防署員の到着後は、その指示に従うようにします。

ウ 救出・救助、救護活動

自分自身の安全に注意しながら、地域で協力して負傷者や倒壊した家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。救出・救助後は、適切な応急手当を行い、重傷者・中等傷者がいる場合には、消防機関に通報したり、救護所等の医療救護施設に搬送するなど、救護活動を行います。

エ 避難誘導

防災マップや、被災状況を確認しながら、地域で呼びかけなどを行い、定緊急避難場所等の安全な場所に避難します。なお、高齢者や障がい者などの避難に支援が必要な方については、町が作成する個別避難計画と連携して、円滑な避難支援ができるよう、地域での役割分担や支援内容を整理します。

オ 避難所運営

行政やボランティア団体等と連携し、避難所運営マニュアルを活用しながら地域全体で避難所の運営に当たります。

5 防災体制

(1) 白山小学校区内自主防災組織一覧

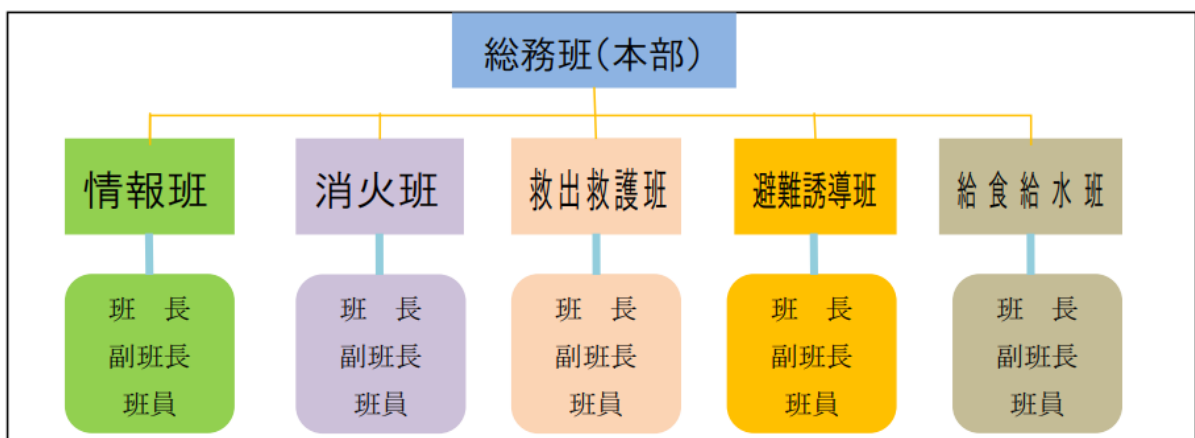
R7.3 時点

下高岡地区自主防災組織		
新開 1	江村あおば団地	四條
正一・川原井	川原井第 3 班	江村住宅
川原井第 1 班	川原井第 1 班	白山西団地
白山南団地	原北	中屋
白山	白小西団地	新開
メゾングリーンピア 正一	白山クリーンタウン 八戸	サンシャイン 白山ニュータウン
新開一朝日ヶ丘団地	ひまわり	塚脇
八戸	みどり丘正一	サントウン正一
正一川原井北		
井戸地区自主防災組織		
二条団地	白山学園第二団地	南山田
西土居	高木南	中代
高木中	井戸川西	北山田
二条西団地	公文明 3	すみれ団地
高木団地	高木北	西中井戸
南真行寺	公文明 2	二条
勅滋	エイブル三木横井	熊田
田村アパート	みき山荘	東中井戸団地
あすなろ		
神山地区自主防災組織		
広野	五区（花折）	津柳
竹尾	一区	三区
四区	出水	西鹿庭
神山一区天満地区	二区自治会	

(2) 組織体制

組織体制	職名
	会長
	副会長
	総務班長
	消火班長
	情報班長
	救出救護班長
	避難誘導班長
	給食給水班長

班名	平時の役割	災害時の役割
総務班（本部）	全体調整 関係機関との連絡調整 避難行動要支援者の把握	全体調整 関係機関との連絡調整 避難行動要支援者の把握
情報班	情報の収集・伝達 広報・啓発活動	被災状況等の把握 情報の報告、共有
消火班	器具の整備・点検 防火広報	初期消火活動
救出救護班	資機材・器具の整備・点検	負傷者等の救出、応急手当・ 救護所への搬送
避難誘導班	避難経路の点検 標識等の点検	住民の避難誘導活動
給食給水班	炊き出し器具等の点検	備蓄食糧・水の分配 炊き出し等の給食・給水活動



(3) 避難場所等

1. 避難場所	施設名	電話番号
① 一時避難場所		
② 指定避難所	白山小学校	087-898-0257
	神山公民館	087-899-0330
	津柳地区コミュニティセンター	087-899-0013
2. 緊急連絡先	三木町役場	087-891-3300
	三木消防署	119 または 087-898-4119
	高松東警察署	110 または 087-898-0110
	香川県広域水道企業団	087-826-6116
	香川大学 医学部付属病院	087-898-5111
	松原病院	087-898-0620
	檉村病院	087-898-1431
	中原病院	087-898-0259
	ふじた医院	087-813-5512
	増田耳鼻咽喉科医院	087-891-3387
	大幸医療センター	087-899-1212
	きただい医院	087-840-2566
	佐々木歯科医院	087-891-0888
	四国電力送配電(株) 高松支社	087-864-3730 0120-410-805
	N T T 西日本	113 または 0120-444-113
	災害伝言ダイヤル	171

(4) 備蓄物資及び資機材

防災倉庫設置MAP

三木町では、大規模な災害に備え、災害時の避難場所となる広域避難場所や防災活動を行う場所など、町内19か所に防災倉庫を設置しています。(具体的な設置場所については下の一覧表をご参照ください。)



防災倉庫設置箇所一覧

1	老人福祉会館あけぼの荘
2	平井小学校
3	文化交流プラザ
4	白山小学校
5	水上小学校
6	B&G海洋センター
7	田中小学校
8	津柳地区コミュニティセンター
9	旧小薮小中学校
10	池戸商工センター
11	田中公民館
12	神山公民館
13	井戸公民館
14	ウォーキングセンター
15	三木中学校
16	農業者トレーニングセンター
17	白山文化センター
18	保健センター
19	ししの子幼稚園・保育所

①	正一・川原井自主防災組織倉庫
②	二条自主防災組織倉庫

■ 白山小学校防災倉庫

名称	数量	保管場所	備考
避難所運営セット	1 式	白山小学校備蓄倉庫	
救助工具セット	1 セット	〃	
救急セット	1 セット	〃	50 人用
発電機	1 台	〃	
ハロゲンライト	1 セット	〃	
災害用毛布	10 個	〃	
簡易トイレ	4 個	〃	
簡易トイレ袋	200 袋	〃	
ヘルメット	5 個	〃	
ガソリン携行缶	1 個	〃	容量：20L
コードリール	1 個	〃	30m
ランタン	12 個	〃	
担架	2 個	〃	
メガホン	2 個	〃	
軍手	48 双	〃	
移動かまど	1 台	〃	
ウォータータンク	1 個	〃	容量：1000 L
給水器	10 個	〃	容量：20 L
乾電池（単一）	100 個	〃	
非常用電池	1 個	〃	最大電流 5 A
非常用電池用 USB ポート	1 個	〃	
電動簡易トイレ	2 台	〃	
電動簡易トイレ用個室	1 個	〃	
空気清浄機	1 台	〃	
革手袋	36 個	〃	
ゴーグル	2 個	〃	
塩化ビニル製手袋	50 双	〃	
フェイスシールド	2 個	〃	
防護服	10 個	〃	
テント	3 個	〃	
簡易ベッド	5 個	〃	
特設公衆電話	2 台	〃	
リヤカー	1 台	〃	耐荷重：130 kg

■ 神山公民館防災倉庫

名称	数量	保管場所	備考
救助工具セット	1 セット	ウォーキング センター備蓄倉庫	
救急セット	1 セット	〃	50 人用
発電機	1 台	〃	
ハロゲンライト	1 セット	〃	
パーソナルテント	3 個	〃	
災害用毛布	10 個	〃	
簡易トイレ	4 個	〃	
簡易トイレ袋	200 袋	〃	
ヘルメット	5 個	〃	
ガソリン携行缶	1 個	〃	容量 : 20L
コードリール	1 個	〃	30m
ランタン	12 個	〃	
担架	2 個	〃	
メガホン	2 個	〃	
軍手	48 双	〃	
移動かまど	1 台	〃	
ウォータータンク	1 個	〃	容量 : 1000 L
給水器	10 個	〃	容量 : 20 L
乾電池 (単一)	100 個	〃	
非常用電池	1 個	〃	最大電流 5 A
非常用電池用 USB ポート	1 個	〃	
電動簡易トイレ	2 台	〃	
電動簡易トイレ用個室	1 個	〃	
空気清浄機	1 台	〃	
ゴーグル	2 個	〃	
塩化ビニル製手袋	50 双	〃	
フェイスシールド	2 個	〃	
防護服	10 個	〃	
テント	3 個	〃	
簡易ベッド	5 個	〃	
リヤカー	1 台	〃	耐荷重 : 130 kg

■二条自主防災組織（井戸地区）

名称	数量	保管場所	備考
一輪車	2 台	防災倉庫	
ヘルメット	40 個	二条集会所	
LED ヘッドライト	40 個	二条集会所	
ブルーシート	10 枚	防災倉庫	
防火バケツ	4 個	二条集会所	
梯子	1 個	二条集会所	
発電機	2 台	防災倉庫	
バチツル	2 個	防災倉庫	
つるはし柄	2 個	防災倉庫	
ジャッキ	2 個	防災倉庫	2 トン用
ラジオ	4 個	二条集会所	
エアーマット	10 個	二条集会所	
寝袋	40 個	二条集会所	
金テコ	2 個	防災倉庫	
のこぎり	4 個	防災倉庫	
LED 懐中電灯	40 個	二条集会所	
リヤカー	2 台	防災倉庫	
ショベル（丸形）	4 個	防災倉庫	
ショベル（角型）	4 個	防災倉庫	
ガソリン携行缶	4 個	防災倉庫	20L
トラロープ	4 本	防災倉庫	9 mm×100m
チェンブロック	1 個	防災倉庫	1 トン用
毛布	40 枚	二条集会所	
カセットコンロ	5 個	二条集会所	
石油ストーブ	5 個	二条集会所	
アルミ保温シート	41 枚	二条集会所	
ボトルクリッパー	2 個	防災倉庫	
バール六角	2 個	防災倉庫	
工具セット	2 個	二条集会所	
コードリール	5 個	防災倉庫	
ウォータータンク	40 個	二条集会所	
LED スタンド	6 個	防災倉庫	
マキタ充電チェンソー	1 個	防災倉庫	

移動かまど	1 個	防災倉庫	
タコマン三脚ヘッド	1 個	防災倉庫	
足場用鋼管パイプ	3 本	二条集会所	
ポータブルトイレ	2 個	防災倉庫	
簡易トイレ用テント	2 個	防災倉庫	

■正一・川原井自主防災組織（下高岡地区）

名称	数量	保管場所	備考
メガホン	2 個	正一・川原井集落活動広場	
ヘルメット	20 個	正一・川原井集落活動広場	
一輪車	2 個	正一・川原井集落活動広場	
角型スコップ	5 個	正一・川原井集落活動広場	
剣先スコップ	5 個	正一・川原井集落活動広場	
カケヤ	2 個	正一・川原井集落活動広場	
ハンマー	2 個	正一・川原井集落活動広場	
トラロープ	2 個	正一・川原井集落活動広場	
平バール	2 個	正一・川原井集落活動広場	
テコバール	2 個	正一・川原井集落活動広場	
トビグチ	2 個	正一・川原井集落活動広場	
担架	1 個	正一・川原井集落活動広場	
のこぎり	2 個	正一・川原井集落活動広場	
トランシーバー	4 個	正一・川原井集落活動広場	
爪付油圧ジャッキ	2 個	正一・川原井集落活動広場	
スーパーLED	1 個	正一・川原井集落活動広場	
はしご	2 個	正一・川原井集落活動広場	
ボルトクリッパ	1 個	正一・川原井集落活動広場	
テント	2 個	正一・川原井集落活動広場	
石油ストーブ	1 個	正一・川原井集落活動広場	
リヤカー	2 個	正一・川原井集落活動広場	
トイレ用テント	2 個	正一・川原井集落活動広場	
簡易組立便座	1 個	正一・川原井集落活動広場	
インバーター発電機	1 個	正一・川原井集落活動広場	
コードリール	2 個	正一・川原井集落活動広場	
ガソリン携行缶	2 個	正一・川原井集落活動広場	

炊飯装置	1 個	正一・川原井集落活動広場	
水中泥水ポンプ	1 個	正一・川原井集落活動広場	
チェンソー	1 個	正一・川原井集落活動広場	
会議用テーブル	2 個	正一・川原井集落活動広場	
救急箱 5 人用	1 個	正一・川原井集落活動広場	
折り畳み椅子	10 個	正一・川原井集落活動広場	
サニーホース	1 個	正一・川原井集落活動広場	
LED ヘッドライト	20 個	正一・川原井集落活動広場	
LED 作業灯	4 個	正一・川原井集落活動広場	
高視認ベスト	15 個	正一・川原井集落活動広場	

6 その他

(1) 防災情報の入手について

- ・ 三木町防災行政メール

携帯電話等で三木町からの防災情報（避難指示等）をメールで受け取れます。

- ・ 香川県防災ナビアプリ

スマートフォンの持つ位置情報を活用して、避難行動を支援する諸機能があります。

- ・ 気象庁（高松地方気象台）

香川県の気象や災害・洪水予報に関する情報を閲覧できます。

- ・ 戸別受信機

町からの緊急情報（避難所の開設、避難指示等住民発令、緊急地震速報、火災情報など）防災・危機管理上重要な情報や行政情報などを受信できます。総務課窓口で1世帯1台まで無償で貸与できます。



【三木町防災行政メール】



Android



iOS

【香川県防災ナビアプリ】



【気象庁（高松地方気象台）】

(2) 最低限必要な備蓄物資の量【3日分】

【食料】

3食×3日分＝9食分

【飲料】

3ℓ×3日分＝9ℓ

【1日トイレの回数】

5回×3日分＝15回分 etc

各家庭で最低3日間、できれば1週間過ごせるよう、飲料水（1人一日3ℓ）、食料等を備蓄しておきましょう。

普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから使っていく、消費した分を補充する方法（ローリングストック法）が効果的です。

【家庭での備蓄品リスト】

家庭備蓄の例（1週間分 / 大人2人の場合）

必需品	主食 エネルギー 炭水化物	主菜 たんぱく質	副菜・その他
水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3ℓ程度 （飲料水＋調理用水） 	米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い足す（1人1食75g程度） 乾麺（うどん・そば・そうめん・パスタ） ・そうめん2袋（300g/袋） ・パスタ2袋（600g/袋） 	レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個 	日持ちする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等 調味料 ・お好みのもの 梅干、のり、乾燥わかめ等 野菜ジュース、果物缶詰等 即席スープ等 
カセットコンロ・カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度 	カップ麺類×6袋 アルファ米×6袋 その他（適宜） ・ロングライフ牛乳 ・シリアルなど 	缶詰（肉・魚） ・お好みのもの18個 	

【常時持ち出し品リスト】

食料品など	衣類など	貴重品	日用品・安全対策・その他	感染症 対策用品
☐ 飲料水 ☐ 缶切り不要缶詰 （肉、野菜、果物など） ☐ 割り箸、 フォーク、紙皿 ☐ カセットコンロ、 ガスボンベ 	☐ 下着・上着 ☐ 雨具 ☐ タオル ☐ 歯磨きセット ☐ 生理用品 	☐ 貯金通帳 ☐ 印鑑 ☐ 現金 ☐ 免許証 ☐ 保険証 	☐ 懐中電灯 ☐ 携帯ラジオ ☐ 予備電池 ☐ 携帯電話 ☐ ティッシュ ☐ 充電器 ☐ ライター ☐ ろうそく ☐ トイレットペーパー ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ ロープ ☐ 軍手 ☐ 常備薬 ☐ 食品用ラップ ☐ 筆記具、メモ帳 ☐ 簡易トイレや 携帯トイレ （1人当たり5回/日程度） ☐ ヘルメット、防災ずきん	☐ マスク ☐ アルコール 消毒液等 

(3) 家具類転倒防止対策

香川県地震・津波被害想定調査報告書では、家具類の転倒・落下防止対策によって、死傷者数を4分の1に軽減できるとの想定が示されています。

【転倒・落下防止チェックリスト】

チェック項目	ポイント
1. 家具の置き場所を検討	「寝る場所」や「座る場所」の近くにはできるだけ家具を置かないようにしましょう。 また、避難経路がふさがれないようにするため、廊下、玄関、扉の前には家具を置かないようにしましょう。
2. 家具の向きに注意	ベッドなどに向かって倒れてこないよう、家具の向きを見直しましょう。
3. 家具の重心を下げる	家具の上部に重い物を入れていると倒れやすくなります。 重い物は下部に、軽い物は上部に配置換えしましょう。
4. 家具の固定	家具の固定には、様々な固定方法・固定器具があります。 固定方法を検討しましょう。
5. ガラスの飛散防止	ガラスの扉が付いている家具は、地震の際にガラスが割れ、中身が飛び出す可能性があります。窓ガラスも含め、飛散防止のためのフィルムを貼るなどの対策をしましょう。

(4) 家屋の耐震化について

昭和56年（1981年）5月以前に建設した住宅は、旧耐震基準で建てられているため、耐震性能が十分とは言えません。

香川県では、住宅の耐震化に係る「補助金制度」や従来の工法より安価で短期間に耐震化できる「低コスト工法」などをわかりやすくまとめたポータルサイト（香川県住宅耐震ポータルサイト）を作成しています。

町の民間住宅耐震対策支援事業等を活用して、自らの命を守り、そして、あなたの大切なご家族を守るために、対策を行いましょう。

(5) 避難者カード

災害時、避難所へ避難する際、受付時に以下の避難者カードを記入する必要があります。事前に記入しておき、避難の際に持参する事により、受付の時間を短縮する事が出来ます。

避難者カード 避難所：（ ）				
健康確認				
体調不良の有無		有 ・ 無		
※ 有 の方は受付スタッフまで申告ください。				
個人情報				
住所	〒 三木町大字			
ふりがな 氏名			生年 月日	大・昭・平・令 年 月 日
連絡先			年齢	歳
一緒に 避難 した人 (同世帯)	1		2	
	3		4	
避難情報				
避難先	☐ 避難所 ☐ 車両（避難所敷地内） ☐ テント（避難所敷地内） ☐ 自宅 ☐ その他（ ）			
備考	避難生活で配慮が必要なことがあればご記入ください。 （例：食事への配慮、介護・介助の必要）			
安否の情報照会への回答について				
親族・同居人 への回答	回答する ・ 回答しない		知人への回答	回答する ・ 回答しない
親族・同居人・知人以外からの照会に対する 回答又は公・3の同意の可否			同意する ・ 同意しない	
照会時に回答する連絡先			※上記と同じであれば記入不要	
・部記入欄	整理 番号		受付日	



防災まち歩きMAP写真資料



1.石



2.電柱



3.ブロック塀



4.廃屋



5.ブロック塀



6.避難所